

amadana ディスプレイ
(LCD モニター)

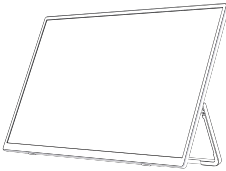
16APM1Q J

取扱説明書

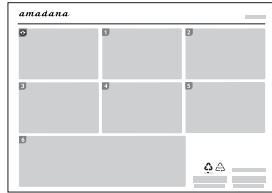
付属品

開梱時に次のアイテムが揃っていることを確認し、モニターを送り返すときに必要となる場合がありますので、梱包材料は捨てずに保管しておいてください。

LCDモニター



クイックスタートガイド



HDMI ケーブル(ミニ)

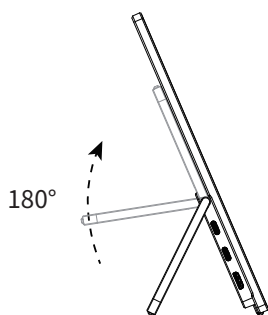


USB Type-C ケーブル



折りたたみスタンド

1. ポータブル モニターを パッケージから 取り出し、安定した 水平な 作業エリアに 置きます。
2. 折りたたみ式ブラケットを開きます。折りたたみ式スタンドを使用して、ディスプレイの視野を調整できます。(下図参照)



省電力

モニターは黄色の電源 LED で示されるように、ディスプレイコントローラからの制御信号により省電力モードに切り替わります。

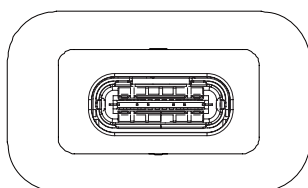
モデル	LED ライト
オン	緑
信号なし	赤
省電力	赤
オフ	なし

省電力モードは、制御信号が検出されるか、キーボードまたはマウスがアクティブになるまで維持されます。「省電力」モードから「オン」までの回復時間は、約3秒です。

ディスプレイデータチャンネル (DDC)

インストールを簡単にするために、システムが DDC プロトコル をサポートしている限り、モニターはプラグアンドプレイが可能です。DDC は、モニターがホストシステムにその機能 (サポートされている解像度や対応するタイミングなど) を自動的に通知する通信プロトコルです。モニターは DDC/CI 標準をサポートしています。

コネクタピンの配置



タイプ G (24ピンメスコネクター)

A1	GND	B1	GND
A2	TX1+	B2	TX2+
A3	TX1-	B3	TX2-
A4	VBUS	B4	VBUS
A5	CC1	B5	CC2
A6	D1+	B6	D2+
A7	D1-	B7	D2-
A8	SBU1	B8	SBU2
A9	VBUS	B9	VBUS
A10	RX2-	B10	RX1-
A11	RX2+	B11	RX1+
A12	GND	B12	GND

標準タイミングテーブル

モード	解像度		
1	VGA	640×480	60 Hz
2	SVGA	800×600	60 Hz
3	XGA	1024×768	60 Hz
4	WXGA	1280×720	60 Hz
5	SXGA	1280×1024	60 Hz
6	WXGA	1366×768	60 Hz
7	WXGA+	1440×900	60 Hz
8	WXGA++	1600×900	60 Hz
9	WSXGA+	1680×1050	60 Hz
10	FHD	1920×1080	60 Hz

Type-C のインストール

ホストシステムにモニターをインストールするには、次の手順に従ってください。

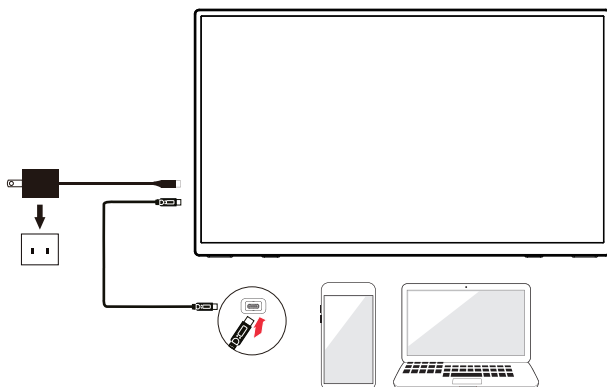
ステップ

コンピュータとモニターの接続

1. 信号伝送ケーブルをモニターの Type-C ジャックとコンピューターのディスプレイカードの Type-C 出力ジャックに接続します。
2. モニターをコンピューターに接続している場合、Type-C ポート経由の外部電源は必要ありません。必要なのは 1 本の信号伝送ケーブルだけです。

画面をスマートフォンに接続します

1. 信号伝送ケーブルをモニターの Type-C ジャックとスマートフォンの Type-C 出力ジャックに接続します。
2. 電力が不足しているスマートフォンの中には、使用時にモニターの Type-C ポート経由の外部電源が必要なものもあります。



- Type-C 1: HDR 機能あり
- Type-C 2: HDR 機能なし
- Mini HDMI: HDR 機能あり

注:

1. このモニターは、 $5V \approx 3.0A / PD (5-20V)$ の条件下で正常に動作します。
2. モニターを電話に接続すると、電話に電力を供給できます (Type-C 出力: $5V \approx 1A$)。
3. 電源アダプターは含まれていません。

HDMIのインストール

モニターをホストシステムにインストールするには、以下の手順に従ってください。

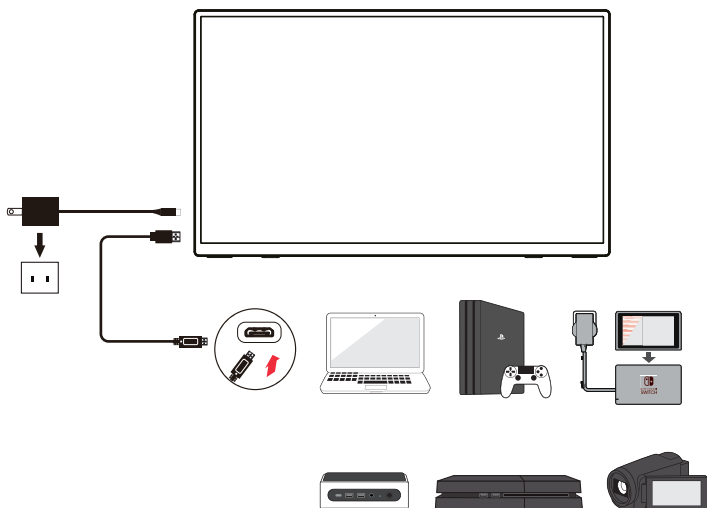
ステップ

モニターをコンピューターに接続します

1. 信号伝送ケーブル HDMIケーブルをモニターのミニ HDMI ジャックとコンピューターディスプレイカードの HDMI 出力ジャックに接続します。
2. モニターを HDMI 信号ケーブルでコンピューターに接続する場合は、Type-c ポートから外部電源 (5V≒ 30A / PD (5-20V)) を供給する必要があります。信号伝送ケーブルが必要です。

HDMI ポート経由で他のデバイスに接続します

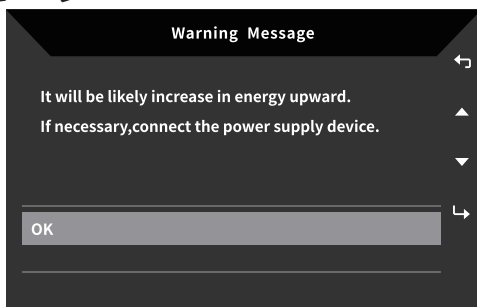
1. 信号伝送ケーブル HDMIケーブルをモニターのミニ HDMI ジャックと他のデバイスの HDMI 出力ジャックに接続します。
2. モニターを HDMI 信号ケーブルで他のデバイスに接続する場合は、Type-c ポートから外部電源 (5V≒ 30A / PD (5-20V)) を供給する必要があります。信号伝送ケーブルが必要です。



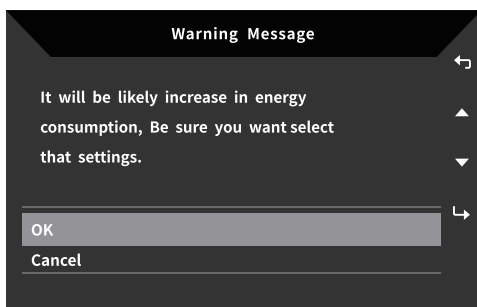
注:

1. このモニターは、5V≒3.0A / PD(5-20V)の条件下で正常に動作します。
2. 電源アダプターは含まれていません。

警告メッセージ



デバイスがディスプレイを一点に動かさずにフル電力消費で動作し、ディスプレイが頻繁に再起動するのを防ぐためです。そのため、ソフトウェアがディスプレイに単一接続され、単一接続デバイスがボードに<5V 3Aの電力を供給する場合、明るさまたは音量を30に調整した後、外部電源を調整できないことを示すボックスがポップアップ表示され、明るさに関するすべてのメニュー機能がグレーになります。



1. 明るさの値を 80 以上に調整するか、サウンドの値を 50 以上に調整すると、エネルギー効率ウィンドウが表示されます。
2. HDRまたは ACMを有効にすると、エネルギー効率ウィンドウが表示されます。
3. シーンモードの明るさの値が 80を超えると、エネルギー効率ウィンドウが表示されます。
4. 低ブルーライト機能を有効にすると、エネルギー効率ウィンドウが表示されません。

注:

[OK]をクリックすると、上記のオプションを調整してもエネルギー効率ウィンドウはポップアップ表示されませんが、リセットすると再びポップアップ表示されます。

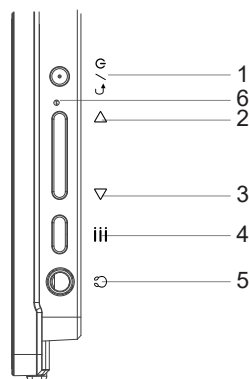
[キャンセル]をクリックすると、上記のオプションを調整するとエネルギー効率ウィンドウが引き続きポップアップ表示されます。

ユーザーコントロール

⏻/⏻: 終了/電源オン/オフ

モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

点灯して、電源がオンに切り替わったことを示します。



ショートカットメニューの使用

外部コントロール

1	⏻/⏻	終了	OSDメニューでは、短く押すとメニューを終了します。
		電源オン/オフ	3秒以上長押しすると、ディスプレイのオン/オフが切り替わります。
2	△	上	OSDメニューでこのボタンを押すと、目的の項目を選択できます。
3	▽	下	OSDメニューでこのボタンを押すと、目的の項目を選択できます。
4	iii	メニュー	このボタンを押すと、ウィザード OSD が表示されます。 ウィザード OSD でこのボタンを押すと、メインメニューに入ります。 このボタンを押すと、OSDメニュー操作に入ります。
5	🔊	オーディオ出力	3.5mm ヘッドフォンホール: この接続は、モニターからマルチメディアスピーカーまたはヘッドフォンへのオーディオ出力用です。
6	Ⓛ	LEDインジケータ	信号入力あり: 緑 信号なし: 赤 省電力: 赤 オフ: なし。

OSD設定の調整

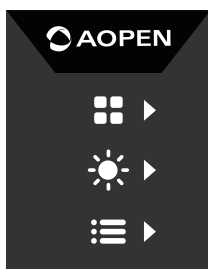


注: 以下の内容は一般的な参考用です。

実際の製品とは異なる場合があります。

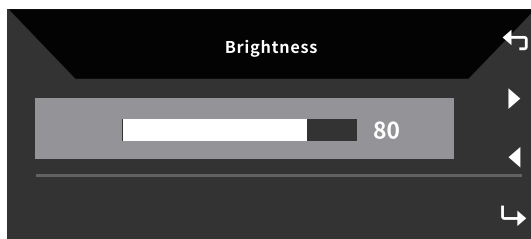
OSDはLCDモニターの設定を調整するのに使用できます。MENUキーを押してOSDを開きます。OSDを使用して、画質、OSD設定、および一般設定を調整できます。詳細設定については、次のページを参照してください。

製品ウィザードOSD



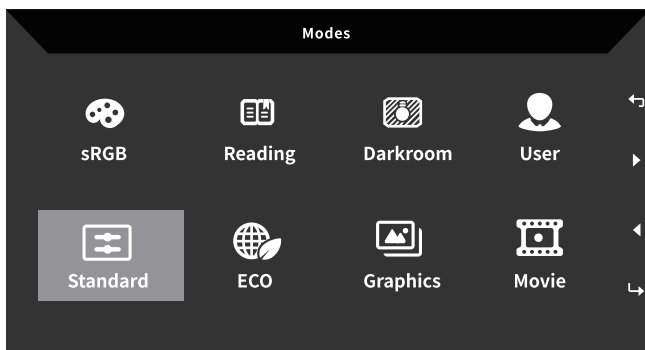
1. **iii** キーを押してウィザード OSDを起動します。
2. ウィザード OSDで△キーを押してモードメニューにアクセスします。
3. ウィザード OSDで▽キーを押して明るさを調整します。(このキーはカスタマイズできます)
4. ウィザード OSDで **iii** キーを押してメインメニューに入ります。

明るさ設定の調整



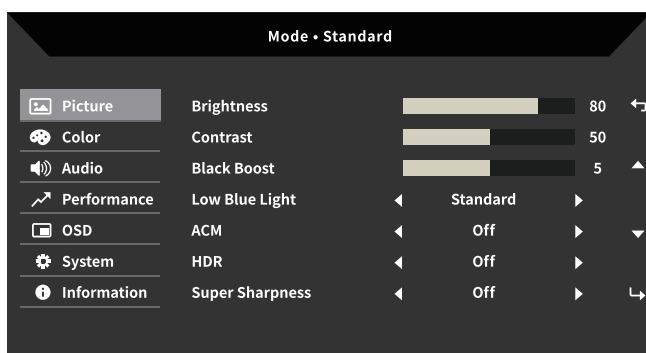
1. **iii** キーを押してウィザード OSDを起動します。
2. ウィザード OSDで▽キーを押して明るさにアクセスします。
3. △/▽キーを使用してスライディングスケールを調整します。**iii**キーを押して選択を確定します。

製品のモードメニュー設定



1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動します。
2. ウィザード OSD で Δ キーを押してモードメニューにアクセスします。
3. Δ/∇ キーを使用してモードを選択し、**iii** キーを押して選択を確定します。

画像設定の調整



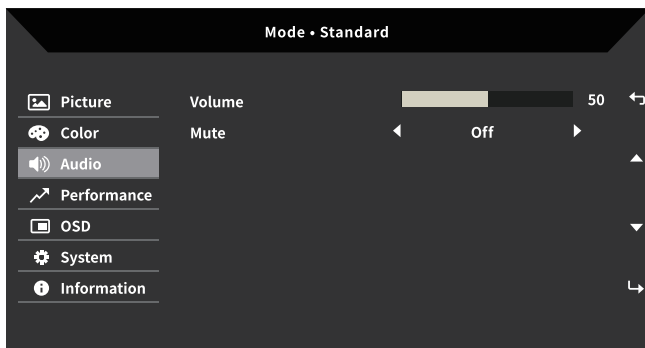
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **画** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用して、スライディングスケールを調整します。
4. 画像メニューを使用して、明るさ、コントラスト、ブラックブースト、ブルーライト軽減、ACM、HDR、スーパーシャープネスを調整できます。

色設定の調整



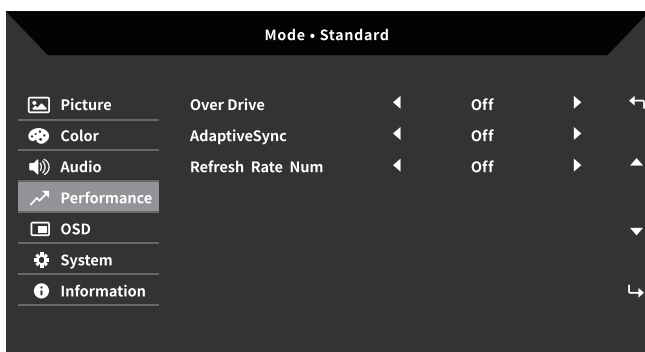
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **Color** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用して、スライディングスケールを調整します。
4. カラーメニューを使用して、ガンマ、色温度、Rゲイン、Gゲイン、Bゲイン、Rバイアス、Gバイアス、Bバイアスモード、sRGBモード、グレースケールモード、6軸色相、6軸彩度を調整できます。

音声設定の調整



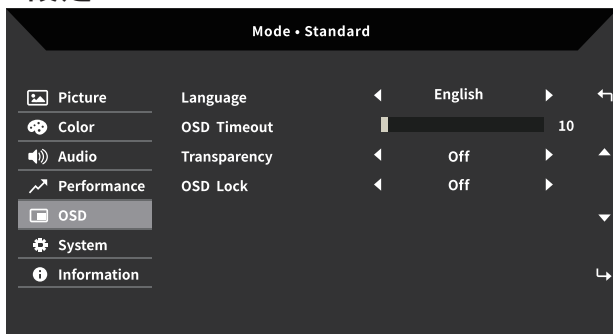
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **🔊** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用してスライドスケールを調整します。
4. オーディオメニューを使用して、音量やミュートを調整できます。

パフォーマンス設定の調整



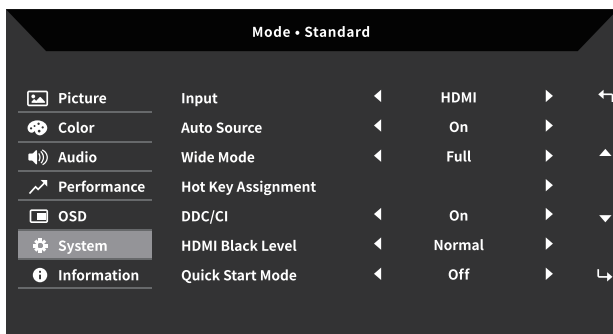
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **↗** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用してスライディングスケールを調整します。
4. パフォーマンスメニューを使用して、オーバードライブ、アダプティブシンク、リフレッシュレート数値を調整できます。

製品のOSD設定



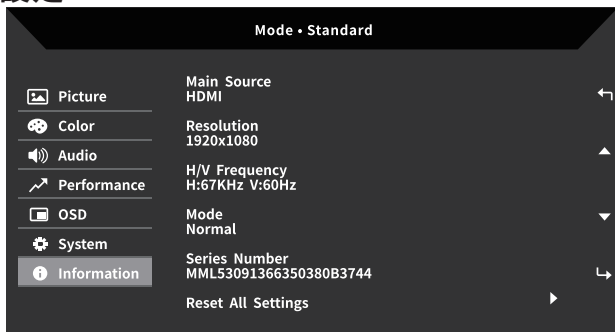
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **OSD** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用してスライドスケールを調整します。
4. OSDメニューを使用して、言語、OSDタイムアウト、透明度、OSDロックを調整できます。

製品システム設定



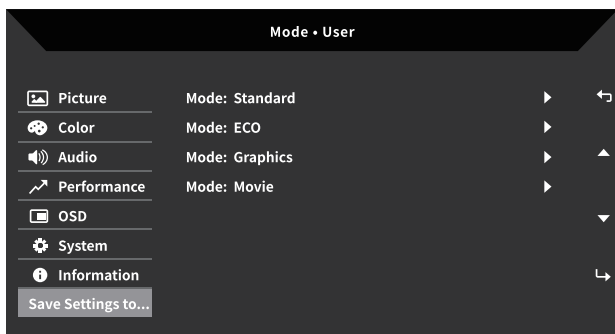
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **System** を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用してスライドスケールを調整します。
4. システムメニューでは、入力、自動ソース、ワイドモード、ホットキーの割り当て、DDC/CI、HDMI黒レベル、クイックスタートモードを調整できます。

製品情報設定



1. ≡キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で ≡キーを押してメインメニューに入ります。
2. △/▽キーを使用して、メインメニューから ⓘ を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. ≡キーを押して選択を確定します。△/▽キーを使用してスライドスケールを調整します。
4. 情報メニューを使用して、すべての設定をリセットしたり、製品情報を表示したりできます。

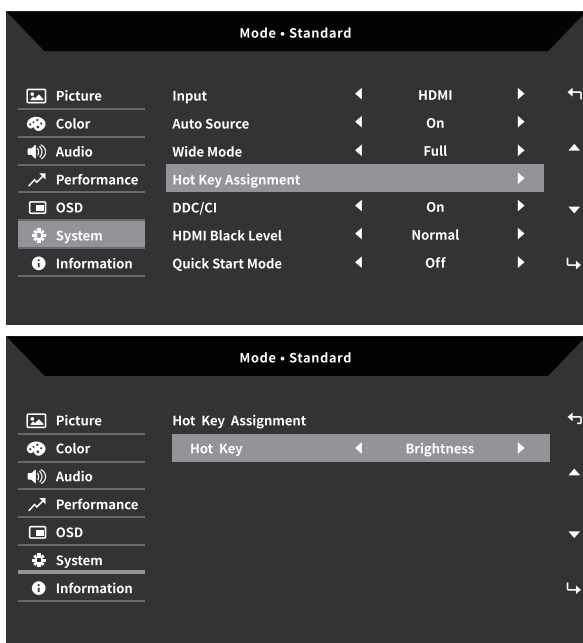
製品の設定を保存...設定



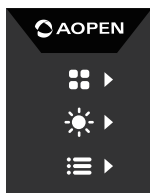
ユーザーが明るさ、コントラスト、ガンマ、色温度などのパラメータを変更すると、メインメニューに [設定を保存...] が表示されます。

1. ≡キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で ≡キーを押してメインメニューに入ります。
2. △/▽キーを使用して、OSD から [設定を保存...] を選択します。次に、調整する機能に移動します。
3. ≡キーを押して選択を確定します。△/▽キーを使用して、スライディングスケールを調整します。
4. [設定を保存...]メニューを使用してモードを調整できます。

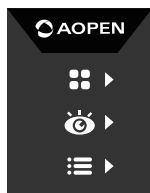
ホットキー割り当て設定



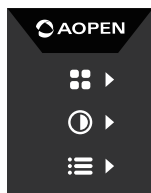
1. **iii** キーを押してウィザード OSD を起動し、ウィザード OSD で **iii** キーを押してメインメニューに入ります。
2. Δ/∇ キーを使用して、メインメニューから **⚙️** を選択します。
3. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用して、システムからホットキー割り当てを選択します。**-** キーを押してホットキー割り当てを入力します。
4. **iii** キーを押して選択を確定します。 Δ/∇ キーを使用して、調整する機能を選択します。**iii** キーを押して選択を確定します。
5. ホットキーを使用して、輝度、低ブルーライト、対比、ガンマ、入力を定義できます。



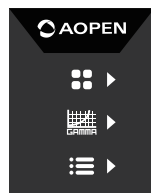
輝度



低ブルーライト



対比



ガンマ



入力

トラブルシューティング

LOD モニターを修理に出す前に、以下のトラブルシューティングリストを確認してください。

Type-Cモデル

問題	LEDステータス	救済策
画像が表示されない	緑	OSD を使用して、明るさとコントラストを最大に調整するか、デフォルト設定にリセットします。
	オフ	電源スイッチを確認します。 電源コードがモニターに正しく接続されているかどうかを確認してください。
	赤	ビデオ信号ケーブルがモニターの背面で正しく接続されているかどうかを確認します。 コンピュータシステムがオンになっていて、省電力/スタンバイモードになっているかどうかを確認してください。
画像が不安定だ		グラフィックアダプターとモニターの仕様が準拠しているかどうかを確認して下さい。これが入力信号周波数の不一致の原因となっている可能性があります。
画像が異常だ	画像が画面上で欠落している、中心からずれている、大きすぎる、または小さすぎる。	システムのディスプレイ設定を確認します。画像が表示されない場合は、別の解像度または垂直リフレッシュレートを選択してください。画像のサイズを調整した後、信号ケーブルを変更または取り外したり、モニターの電源をオフにしたりする前に、数秒待つてください。
OSD ロック	キーの機能が無効です	OSD ロックを解除するには、△ キーを 3 秒以上長押ししてください。

注: amadana モニターは、電子機器から取得した情報をビデオおよび視覚的に表示することを目的としています。